



R8.8.27 令和8年度第3回大甕・太田地区学校適正化検討協議会資料
(南相馬市教育委員会事務局教育総務課)

【オンライン意見箱における意見と今後の方向性について】

1. オンライン意見箱の概要

■ 南相馬市学校適正化に関する意見箱（常設）

- ・ 集約期間：令和8年6月24日（水）～8月20日（木）
- ・ 投稿者（大甕・太田地区案件）：1名

■ 令和8年第2回協議会に関するオンライン意見箱

- ・ 集約期間：令和8年8月12日（水）～8月20日（木）
- ・ 投稿者：0名



2. 南相馬市学校適正化に関する意見箱（常設）の意見と市教委の考え方

N o	子どもの 区分	カテ ゴリ	保護者からの意見	市教委としての考え・今後の進め方
1	中学生 高校生	その他	中学校までの小中一貫校になると、部活の問題が出ると思います。今、地域移行になっている中で、原三中は部活自体が廃部の危機にあります。 個人的な意見として、今後これ以上の生徒の数は見込めないと思います。 部活をやる時には選べない中学校は廃校にして、一中と二中に分散した方が部活の選ぶ幅が広がると思います。	部活動については、近年、子どもたちの興味・関心の多様化や、少子化の進行により、単独の学校だけでは十分な部活動の維持・継続が難しくなっているという大きな課題があります。市内におきましても、原三中だけの問題ではなく、他の学校においても他校と合同チームを作成している部活動がある現状です。 現在、市教委では、市全体の子どもたちが多様な部活動等を選択できるよう、国が進める部活動の地域展開も見据えつつ、他校との合同活動の実施や地域クラブ活動への移行など、様々な方策について中学校の校長会等と協議を進めております。 また、市教委では、学校適正化の基本方針として、子どもたちが義務教育における集団活動を通して、社会性や協調性を培い、成長できる環境づくりや、多様な経験を持つ友達との出会い、互いに学び合える、より良い教育環境の実現を目指しております。 今後も、子どもたちのことを最優先に考え、保護者・地域の皆さまと共に検討してまいります。